

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 20 日現在

機関番号：12606

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24320028

研究課題名(和文) 遺品調査による藤田嗣治研究 - 君代夫人旧蔵資料のアーカイヴ化と公開 -

研究課題名(英文) FOIJITA Tsuguharu Papers -the Reserch and Archive

研究代表者

古田 亮 (FURUTA, Ryo)

東京藝術大学・大学美術館・准教授

研究者番号：20259998

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,300,000円

研究成果の概要(和文)：web上で全資料のリストを公開し、全資料を検索可能なデータベースを公開した。あわせて、全資料の総目録を作成した。また本研究の成果発表として、2015年12月に東京藝術大学大学美術館展示室において、「藤田嗣治資料公開展示」を行い、資料群の中から、藤田の生涯を通覧できる写真資料を展示したほか、本資料に特徴的なものを特に選出し、展示した。また、観覧者の理解の助けとするためのリーフレットを作成し、展示室で配布した。藤田の日記などをもとに藤田の詳細な年譜を作成した。この年譜は2017年に刊行予定である。

研究成果の概要(英文)：We have released the lists of FOIJITA Tsuguharu Papers. Anyone could access the database of its papers in our website. We held the exhibition "The FOIJITA Tsuguharu Papers" at the University Art Museum, Tokyo University of the Arts in December 2015. We displayed many photos, diaries, letters and films showing the FOIJITA's life in this exhibition. We released the booklets to introduce these materials and handed out to visitors. We could enhance the chronological record of FOIJITA by these materials and will publish its record in 2017.

研究分野：日本近代美術史

キーワード：美術史 藤田嗣治 アーカイヴ

1. 研究開始当初の背景

東京藝術大学が所蔵する 6000 件近い藤田嗣治関連資料は、近年際立って進捗しつつある藤田研究において、極めて注目度の高い資料である。資料は、藤田嗣治の夫人である藤田君代氏の元に残された遺品で、2009 年の君代夫人の死後、2010 年に東京藝術大学に寄贈された。資料は大きく書簡、日記、写真、フィルム、手稿、フジタが収集した作品などに分けられ、そのほとんどが未公開のものであった。特に、1930 年から 1968 年までの詳細な日記 (1941-46 年をのぞく) が含まれていること、さらにこれまでほとんど詳細が知られてこなかった 1948 年の渡仏以降の資料が多く含まれ、藤田の戦後の画業と生活について明らかにするための第一次資料であることなどから、多くの研究者から本資料の公開が待たれる状況にあった。

この膨大な物量と情報量をもつ本資料の整理と公開によって、藤田研究のみならず日本近代美術史の研究の進展が大いに期待された。

2. 研究の目的

東京藝術大学所蔵の藤田嗣治資料の包括的な調査、研究を行うことを目的とする。具体的には、

すべての資料を、形体と内容によって分類し、可能な限り年代順に並べ、一覧できるリストを公開する

年代やキーワードによって全資料を検索可能なデータベースを構築、公開する
資料の精査によって、藤田嗣治年譜の内容を拡充する

本資料に関連する周辺資料、特に新聞や雑誌の掲載記事等を可能な限り収集し、本資料中の切り抜かれた雑誌記事等の出典を確認するとともに、藤田在世時の同時代資料としてアーカイブ化すること

ことを目的とする。

3. 研究の方法

分類と整理、デジタル化

すべての資料は、取扱いによる資料の劣化を防ぐために、ポリプロピレンの袋等にできるだけ平滑な状態で収納し、直接資料に人の手が触れる機会を少なくするよう努めた。また劣化が顕著であったマウント加工されたフィルムについては、古いマウントを外し、清拭したうえで新しいマウントに収める等の処置を施した。

上記のような保存処理を施したうえで、資料の 1 点 1 点に URN (Uniform Resource Name) を割り振り、資料の名称、内容や頁数などを記した詳細な調書を作成した。資料の名称は資料に書きこまれた、または印刷された文字からとることを原則とした。調書作成後、資料を形体や内容によって分類し、この分類ごとにその資料が作成された年代順に並べた。分類は以下のとおりである。

A: 単独的なもの

A1: 書簡

A1_1: 書簡_封書

A1_2: 書簡_葉書

A1_3: 書簡_便箋・招待状などのシート・カードのみ

A1_4: 書簡_封筒のみ

A1_5: 書簡_電報

A2: ドキュメント

A2_1: ドキュメント_冊子状のもの

A2_1_1: ドキュメント_冊子状のもの_日記帳

A2_1_2: ドキュメント_冊子状のもの_メモ帳

A2_1_3: ドキュメント_冊子状のもの_アドレス帳

A2_1_4: ドキュメント_冊子状のもの_芳名帳

A2_1_5: ドキュメント_冊子状のもの_出納帳

A2_1_6: ドキュメント_冊子状のもの_パスポート

A2_1_7: ドキュメント_冊子状のもの_スクラップブック

A2_1_8: ドキュメント_冊子状のもの_その他

A2_2: ドキュメント_シート状のもの

A2_2_1: ドキュメント_シート状のもの_日記

A2_2_2: ドキュメント_シート状のもの_メモ

A2_2_3: ドキュメント_シート状のもの_身分証・名刺

A2_2_4: ドキュメント_シート状のもの_その他

A2_2_5: ドキュメント_シート状のもの_建築図面

A3: クリップング

A3_1: クリップング_印刷物

A3_2: クリップング_写真

A4: 写真

A4_1: 写真_フィルム

A4_1_1: 写真_フィルム_ケース入りフィルム

A4_1_2: 写真_フィルム_ケースなしフィルム

A4_1_2_1: 写真_フィルム_ケースなしフィルム_イベント写真フィルム

A4_1_2_2: 写真_フィルム_ケースなしフィルム_藤田作品写真フィルム

A4_1_2_3: 写真_フィルム_ケースなしフィルム_作品写真フィルム[藤田以外]

A4_1_2_4: 写真_フィルム_ケースなしフィルム_その他

A4_2: 写真_紙焼き

A4_2_1: 写真_紙焼き_イベント写真

A4_2_2: 写真_紙焼き_藤田作品写真

A4_2_3: 写真_紙焼き_作品写真[藤田以外]

A4_2_4: 写真_紙焼き_その他

A4_3: フィルムおよび紙焼きの入れ物

A5: 音響・映像資料

A5_1: 音響・映像資料_映画フィルム

A5_1_1: 音響・映像資料_映画フィルム_8mm

A5_1_2: 音響・映像資料_映画フィルム_16mm

A6: 雑資料

A6_1: 雑資料_封筒状のもの

A6_2: 雑資料_その他

- A6_3：雑資料_藤田作品
A6_4：雑資料_旧蔵作品
A7：その他
B：複数あるもの
B1：特殊印刷物(稀少性の高い印刷物など)
B1_1：特殊印刷物_ブローシュア
B1_2：特殊印刷物_リーフレット
B1_3：特殊印刷物_カード
B1_4：特殊印刷物_新聞・雑誌
B1_5：特殊印刷物_ポスター
B1_6：特殊印刷物_オーディオ・ビジュアル
B2：一般印刷物
B2_1：一般印刷物_書籍
B2_2：一般印刷物_雑誌
B2_3：一般印刷物_新聞
B2_4：一般印刷物_ブローシュア
B2_5：一般印刷物_リーフレット
B2_6：一般印刷物_カード
B2_7：一般印刷物_オーディオ・ビジュアル
B3：その他

上記によって、分類、整理した資料はすべてスキャンまたは撮影によってデジタル化し、以後資料の参照は基本的にはデジタルデータによって行うこととし、資料に触れる機会をさらに少なくするよう努めた。また 16mm フィルムについてはパソコンで再生可能とするためにテレシネ変換を行った。

内容の精査

資料の分類、整理と並行して、内容の精査を行った。

具体的には、調書作成に際して読み解いた資料の内容を作業者が調書に反映するだけでなく、定期的に研究報告会を開いて、研究従事者全員で情報を共有し、所蔵資料及び関連資料における、当該資料の位置づけを確認した。

またこの作業のために、藤田嗣治研究者や藤田嗣治の遺族らの協力を仰いで、資料のより正確な読み解きに努めた。

さらに、秋田県立美術館、国会図書館及びフランス各地の藤田研究機関や藤田資料保管機関を訪問し、芸大所蔵資料の内容の裏付けをとった。また秋田県立美術館及びパリ郊外のメゾン・ド・フジタでは相互補完的な関係にある資料の存在を確認し、調査を行った。また両機関と継続的に藤田嗣治研究において協力関係を保つことを確認した。

日記については、藤田の年譜の拡充に特に重要と思われる箇所を中心に書き起こし作業を行い、これまで知られてこなかった藤田嗣治の画業と生涯についての情報を掘り起こすことに努めた。

データベースの構築

整理された資料を、web 上で検索可能なデータベースとして公開できるよう、データベースの項目の設定や検索機能の向上につい

て検討した。

具体的には、まず分類方法について周知し、分類ごとのリストを参照できるようにすることとした。さらに、分類、年代、キーワード等によって検索可能とするために、検索対象とするすべての項目を一律に網羅したデータを作成した。検索対象には、別名や藤田自身による書き込みの項目も設定し、有用と思われる内容を可能なかぎり盛り込んだ。

公開方法と範囲の設定

本資料の公開にあたっては、著作権保護、プライバシー保護の観点から、その方法と範囲について慎重に検討した。

基本的には広く公開する方針をとったが、資料中には著作権の保護期間内のものが多く、そのため web 上のデータベースに画像を掲載することは見送った。各々の著作権者に許可をとる方法も検討したが、著作権者の分からない資料が多数存在し制約が多いため、データベースには文字情報のみ掲載することとした。

また藤田の残した日記等には遺族が存命の個人名が多くあらわれるため、プライバシー保護の観点からも内容を広く web 上で公開することは控えることとした。

ただし希望者は、来館すれば制限なく閲覧可能とし、各々が論文や発表等で使用する際に著作権処理をすることとした。またプライバシーの保護については、その都度各研究者と協議することとした。

4. 研究成果

web 上で全資料のリストを公開した。

http://www.geidai.ac.jp/museum/collecti on/research_materials_ja.htm

全資料を検索可能なデータベースを公開した。

http://jmapps.ne.jp/geidai_research_mat erials/

全資料の総目録を作成した。

藤田嗣治に関連する新聞及び雑誌記事の複写を可能な限り網羅的に収集し、本学が将来的には藤田嗣治研究の拠点のひとつとなる足がかりとした。

本学大学美術館展示室において、「藤田嗣治資料公開展示」を行い、資料群の中から、藤田の生涯を通覧できる写真資料を展示したほか、本資料に特徴的なものを特に選出し、展示した。展覧会には6日間の会期中に5532名の観覧者が訪れ、資料の注目度の高さが窺われる展示となった。またこの展示では、観覧者の理解の助けとするためのリーフレットを作成し、展示室で配布した。

藤田の日記などをもとに藤田の詳細な年

譜を作成した。この年譜は 2017 年に刊行予定である。

*なお、本研究で扱った資料は、個人情報も多く含むものであり、整理がすべて完了の後、公開基準を設定したうえで公開されるべきものであったため、研究期間中の論文発表等を行っていない。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

特になし

6. 研究組織

(1)研究代表者

古田亮 (FURUTA, Ryo)
東京藝術大学・大学美術館・准教授
研究者番号：20259998

(2)研究分担者

木島隆康 (KIJIMA, Takayasu)
東京藝術大学・大学院美術研究科・教授
研究者番号：10345340

薩摩雅登 (SATSUMA, Masato)
東京藝術大学・大学美術館・教授
研究者番号：80272657

岡本明子 (OKAMOTO, Akiiko)

東京藝術大学・大学美術館・学芸研究員
研究者番号：30553523

下東佳那 (SHIMOHIGASHI, Kana)
東京藝術大学・大学美術館・学芸研究員
研究者番号：10711608

2013年3月まで分担者

田中圭子 (TANAKA, Keiko)
東京藝術大学・大学美術館・学芸研究員
研究者番号：10571953

2013年7月まで分担者

黒田和士 (KURODA, Kazushi)
東京藝術大学・大学美術館・学芸研究員
研究者番号：50626398

(3)連携研究者

()

研究者番号：